

2021 年度 自己点検・評価報告書

(国際仏教学高等研究所)

2022 年 3 月

1. 研究所の理念や方針の設定、明示および周知の状況について

研究所ホームページに掲載し周知している。

2. 当該年度の活動状況について

1. センターの活動内容、2. センター員の活動内容、3. 開催行事、4. 研究の具体的進展・成果、5. 学生の学習成果・成長の事例、6. 地域・社会連携、産学連携、7. その他

1. 国際仏教学の文献資料の収集・整理・保管、研究、内外の研究者との交流、研究報告書・出版物の刊行及び国内外連携の研究者への発送等

2. 上記諸活動の推進

特にコロナ禍で内外研究者及び研究機関との交流については実施見送りとなったが、文献資料の収集・整理・保管作業、及び研究報告書・出版物の刊行について強力に推進した。

3. コロナ禍により特に開催せず

4. 本研究所（故・辛嶋教授）と共同研究に取り組んできたドイツ オスカー・フォン・ヒニューバー博士の論文について、辛嶋教授逝去後を受け、数年掛けで作成に尽力し、2021年6月に年報24号別冊として刊行することが出来た。

本研究所発行の年報について、スコープスに登録審査申請を提出（2019年5月）、故・辛嶋教授逝去に伴い、申請者を所員の工藤教授に変更し改めて確認・修正作業を進めたところ、最終評価段階までたどり着いたが、残念ながら登録には至らなかった。指摘事項を踏まえて体制を整え再度挑戦する予定。

5. 特になし

6. インド仏教学会等に所員 工藤教授が会員として参加し、仏教学の研究活動の相互連携に寄与また、東洋哲学研究所との文献類の閲覧等について相互に連携を取り推進した。

3. 国際化への対応

1. 海外研究者の招聘状況、2. 海外の研究組織との共同研究体制、3. センター員の在外研究の方針と状況、4. その他

1. コロナ禍により、北京大学外語大学副教授 叶少勇博士の招聘について次年度に延期となった。

2. 中国蔵学研究中心科学研究業務弁公室と創価大学国際仏教学高等研究所とで『法華経』とその他の大乘仏典梵語写本の共同研究を発展させるための協議書（2017年）について、故・辛嶋教授の後を受け、所員 工藤教授が今後の共同研究の推進について協議するため北京へ出張を予定していたが、コロナ禍により延期となった。

3. 故・辛嶋教授の後を受け、今後の在外研究の方針については改めて検討することとなった。

4. 次年度の事業計画

- ・ 仏教学文献の選書・発注・納品・配架
- ・ 辛嶋文庫等寄贈図書のカテゴリ・配架作業の完了
- ・ 招聘 北京大学外国語学院副教授 叶少勇 氏（期日未定 約1ヶ月間）
- ・ 講演会 学内研究者等を招き年2回ほど開催する予定（開催日程は未定）
- ・ 2021年度出版物発送
- ・ 刊行物出版
- ◆ Gilgit Manuscripts Series (GMNAI) 1冊
- ◆ 年報 26号
- ◆ モノグラフ
- ・ 所員 工藤教授 日本印度学仏教学会第73回大会 参加予定
- ・ 所員 工藤教授 北京大学出張（出張日程は未定）
- ・ 研究所HPのバージョンアップ

ほか

5. その他